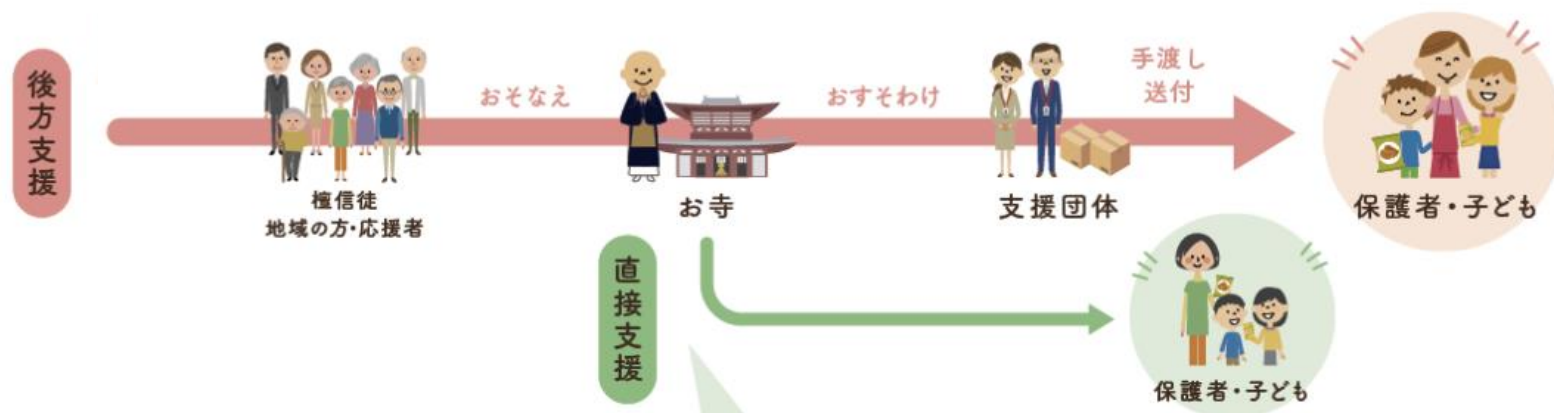


2024年12月 全国支援家庭向け調査 報告書 (概要版)



2025.2.13

おてらおやつクラブから「直接支援」を受ける全国の家庭について、
家庭を取り巻く環境や、当団体とのつながりに対する意識や実態を把握し、
今後の活動の示唆とする。



直接支援

活動の周知に伴って支援要請の数が増えたことにより、
上記の後方支援だけでは支えきれないケースも増加。
そこで、匿名配送の仕組みを新たにつくり、全国のお寺から
ひとり親家庭へと直接「おすそわけ」を届ける支援形態を構築した。

調査目的	直接支援を受ける方の家庭環境や、おてらおてらおやっクラブとのつながりに対する評価を定量的に把握し、今後の活動の示唆とする。
調査手法	インターネット調査
調査対象 および有効回答数	期間中、おすそわけを希望し、事務局へ受取り報告をした全国計3,027世帯を調査対象とする。 おすそわけ希望者とは、おもに生活に困窮したひとり親家庭で、自治体や支援団体の紹介を受けて当団体のおすそわけを希望した方々である。 有効回答数は2,771（有効回答率 91.5%）。 うち、初回受取は736、リポート受取は2,035。
調査時期	2024年11月1日（金）～12月31日（火）

1

おすそわけを初めて受取る家庭の構成比は、3割弱まで増加。
「初回受取家庭の増加」を目標にアウトリーチ強化を行った結果と推測される。
(p.4)

2

初期成果指標「困った時に助けを求められる」のスコアが、初回層で低下。
初めて受取る初回層で、支援が届くまでに時間のかかることがネガティブ評価に
つながったのではないかと推測される。(p.5)

－ 事務局で「配送コスト低減」>「おすそわけが届くまでの時間」と優先度を変えた結果、場合によっては2ヶ月待ちの
状況が発生してしまっていた。

3

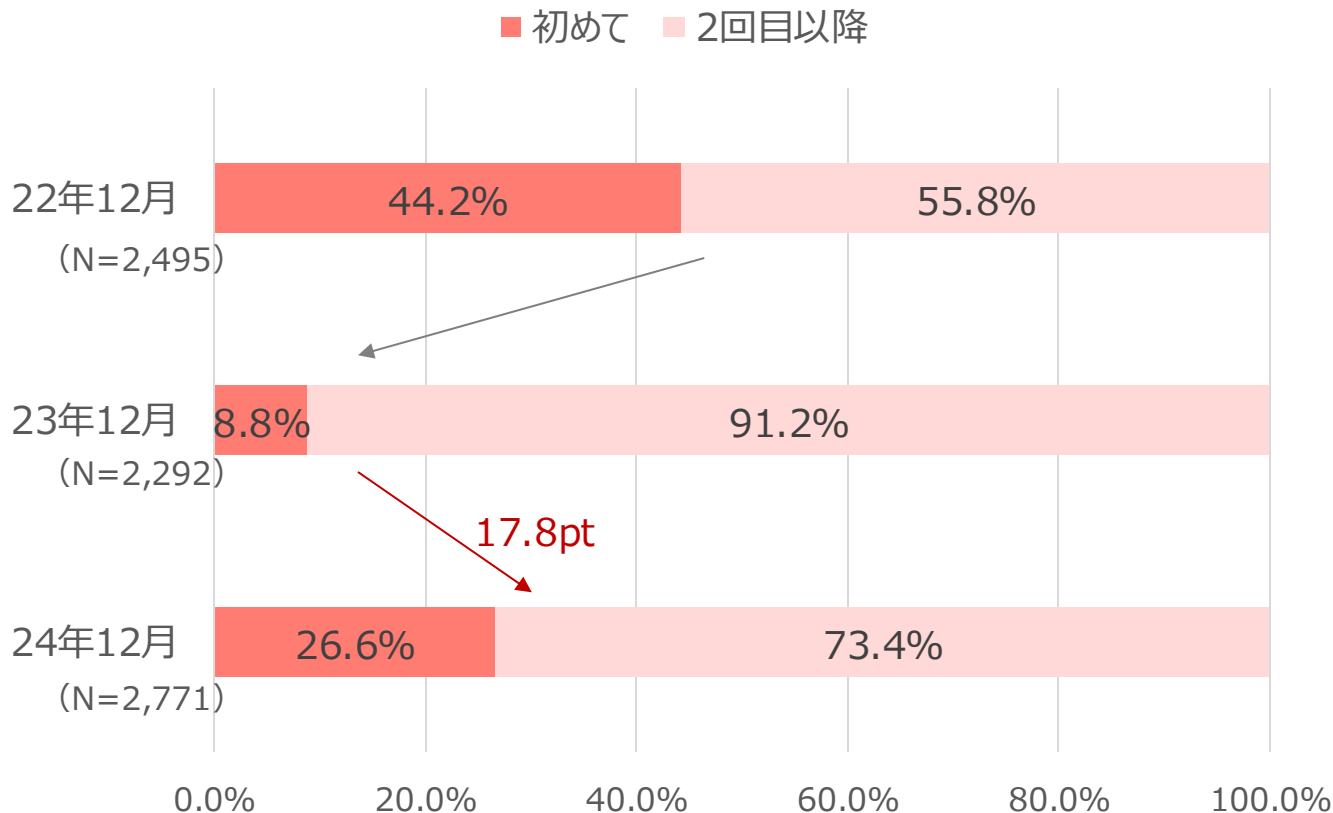
今年度の初回層のうち1割は、「あしなが育英会」高校奨学生の世帯。
様々な事情によって追加的な公的支援を受けることが難しい家庭では、
物価高騰による暮らしぶりの悪化が見られ、支援条件を課さない
おてらおやつクラブのような支援が求められる状況にある。(p.6-8)

－ 「あしなが育英会」の高校奨学生が1割を占めていることから、障害年金受給世帯の割合が増加。
－ 昨年よりも、比較的月収の高い世帯の占める割合が増加。

おすそわけを初めて受取る家庭の構成比は、3割弱まで増加。

- 2023年にかけての初回比率の低下は、おすそわけの仕組みを変更し、主にリピート対象者向けの施策としたため。
- 一方、2024年の初回比率の伸長は、「初回受取家庭の増加」を目標にアウトリーチ強化を行った結果である。

Q. おてらおやつクラブから受け取ったおすそわけの回数

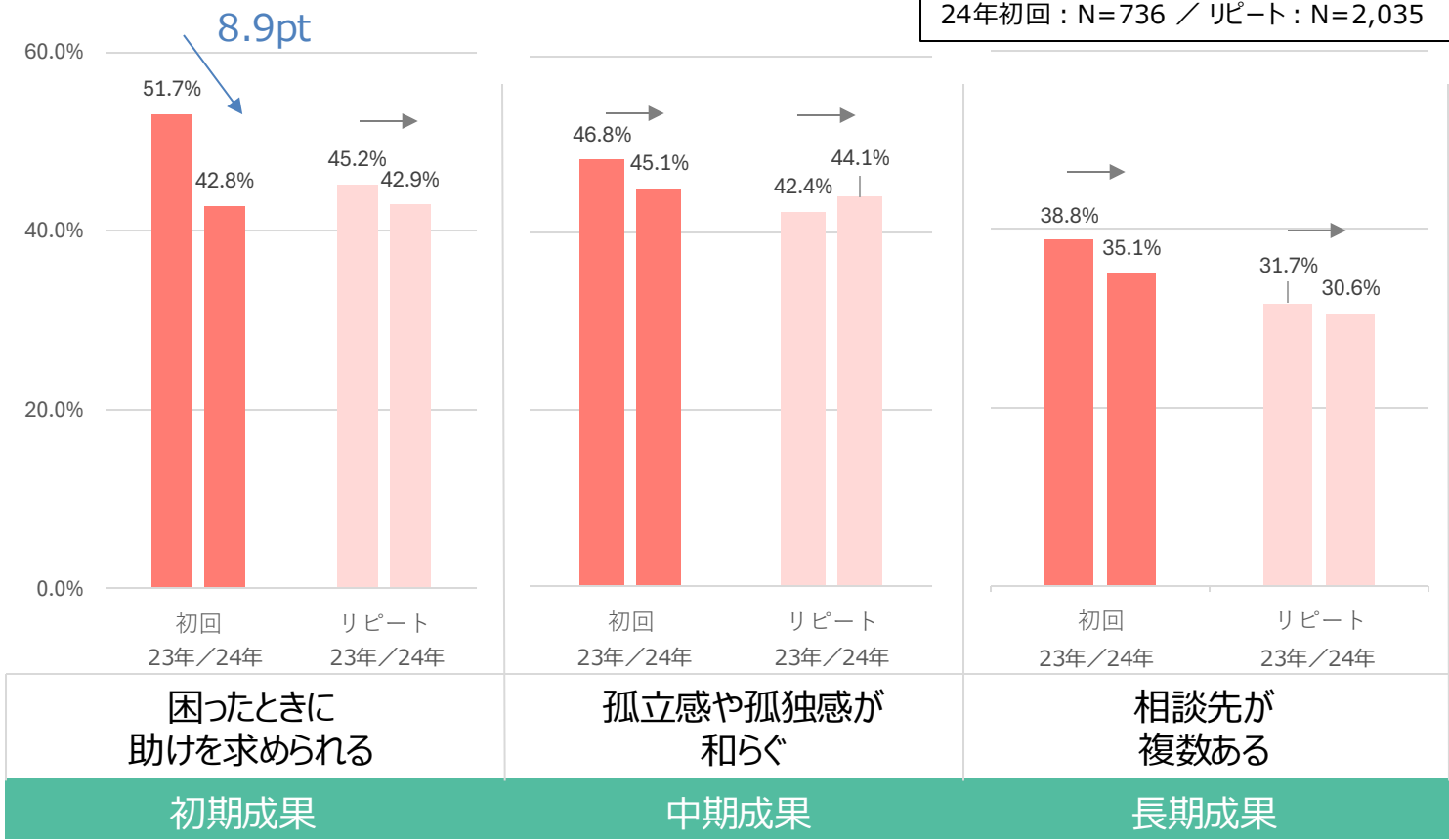


初期成果指標「困った時に助けを求められる」のスコアが、初回層で低下。

－「配送コスト低減」>「おすそわけが届くまでの時間」と優先度を変えた結果、場合によっては2ヶ月待ちの状況が発生。
 初めて受取る初回層で、支援が届くまでに時間のかかることがネガティブ評価につながったのではないかと考える。

Q. おてらおやつクラブとのつながりによる影響 (スコアは5段階のうちTOP1)

23年初回 : N=201 / リポート : N=2,091
 24年初回 : N=736 / リポート : N=2,035



今年度の初回層のうち 1 割は、
「あしなが育英会」高校奨学生の世帯であった。

- おてらおやつクラブでは「あしなが育英会」の高校奨学生を対象に支援を行っている。
- 「あしなが育英会」の高校奨学生を対象としているため、親の年代が比較的高めに出る傾向が見られる。

Q. 「あしなが育英会」の奨学生か

	N	はい	いいえ
2024初回・全体	736	10.2%	89.8%
2023初回・全体	201	0.0%	100.0%

※2層で比較し、5 pt以上
差のある箇所に網掛け

Q. 住所 (地域別)

	N	首都圏 1都3県	関西圏 2府4県	その他
2024初回・全体	736	24.2%	22.1%	53.7%
2023初回・全体	201	7.5%	34.3%	58.2%

Q. 親の年代

	N	20代	30代	40代	50代	60代以上
2024初回・全体	736	6.8%	35.7%	40.9%	16.0%	0.5%
2023初回・全体	201	7.0%	43.3%	42.8%	7.0%	0.0%

今年度の初回層のうち 1 割は、
「あしなが育英会」高校奨学生の世帯であった。

- 「あしなが育英会」の高校奨学生が 1 割を占めたことから、障害年金受給世帯の割合が増加。
- 昨年よりも、比較的月収の高い世帯の占める割合が増加。しかし、こうした世帯の多くは追加的に公的支援を受けることが難しいため、支援条件を課さないおてらおやつクラブの支援が求められる背景があると推測される。

Q. 親の月収

	N	収入なし	1~5万円未満	5~10万円未満	10~15万円未満	15~20万円未満	20万円~25万円未満	25万円以上
2024初回・全体	736	11.4%	4.8%	15.5%	29.5%	25.5%	11.1%	2.2%
2023初回・全体	201	10.9%	3.5%	16.9%	34.3%	26.9%	5.5%	2.0%

Q. 親の預貯金

	N	預貯金なし	1~50万円未満	50~100万円未満	100~150万円未満	150~200万円未満	200万円以上
2024初回・全体	736	37.2%	27.9%	11.0%	6.8%	5.8%	11.3%
2023初回・全体	201	31.8%	29.4%	18.4%	6.5%	5.5%	8.5%

※2層で比較し、5 pt以上差のある箇所に網掛け

Q. 受給している公的支援 (複数回答)

	N	児童手当	就学援助制度	特別児童扶養手当	児童育成手当 (東京都在住のみ)	生活保護	障害年金	遺族年金	障害児福祉手当	公的支援は 受け取っていない
2024初回・全体	736	86.4%	47.7%	11.4%	10.6%	7.1%	8.6%	7.6%	1.5%	3.9%
2023初回・全体	201	89.1%	56.2%	10.9%	4.0%	7.0%	2.5%	3.0%	0.5%	3.0%

自由回答からは、予期せぬ家庭環境の変化や物価高による暮らしぶりの悪化により、生活防衛に苦心する様子がうかがえる。

▼ひとり親の孤立感

沢山のおすそわけを頂き、とても嬉しく思っています。子供達の好きな果物やお菓子が入っていて本当に感謝しています。普段買えないようなお菓子や立派な果物をありがとうございました。主人も亡くなり、孤立感もある中で助けて頂き本当にありがとうございます。ありがたく食べさせて頂きます。

(岡山県のお母さん／子ども3人)

▼ひとり親と病気

シングルマザーで子ども3人。物価高で、生活苦、1日1食です。スーパーの買い物はモヤシ、豆腐、肉は胸肉1択のひもじい生活が続くなか、2年前に手術に入院を2回、去年は難病宣告、収入は1/3とかなりの生活苦ですが、こういう活動がもっと知れたらなあと思いました。

(山口県のお母さん／お子さん2人)

▼頼れる身内の不在

娘と開封したのですが、わー！と声が出ました。お米やお餅、あんこまで入っていて、お正月らしくとても嬉しく助かります。我が家は、普段付き合いをするような身内もなく、年末年始も家で過ごします。私も仕事で出なければなりません。あたたかいお手紙とともに届く荷物に、ほんとうに励まされます。

(宮城県のお母さん／お子さん2人)

名称	認定NPO法人おてらおやつクラブ
所在地	〒636-0311 奈良県磯城郡田原本町八尾40
活動開始	2014年1月1日
認定NPO法人認証	2020年11月27日
Webサイト	http://otera-oyatsu.club
代表者	代表理事 松島靖朗
役員	理事 岡本拓也 理事 桂 浄薫 理事 高山信雄 理事 野田芳樹 理事 福井良應 理事 松野尾浩慈 監事 溝淵雅男
相談役	森本公穰 井出留美